

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 八百津高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年6月2日(金) 15:30~16:30
- 3 開催場所 八百津高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	渡辺 隆正	八百津中学校長
副会長	山口 茂義	錦津コミュニティセンター館長
委員	千葉 智治	錦津小学校長
	武市 由紀子	八百津町教育相談アドバイザー
	林 善次	同窓会長
	安藤 勉	P T A会長
	宮ノ腰美ゆき	八百津町教育委員
オブザーバー	加藤 大博	岐阜県議会議員
	佐合 智尚	前P T A会長
学校側	岩島 章雄	校長
	浅見 和人	教頭
	兼松 義治	教務主任
	井戸 礼子	生徒指導主事
	貝川 友子	記録係

5 会議の概要(協議事項)

(1) 令和5年度の学校運営計画等について

意見1: 連携型中高一貫教育については、コロナ禍の時よりも行えるようになった。中学校でも八百津高校の教員がティームティーチングで授業に参加して、子どもたちに声をかけるなど、中学生が八百津高校を身近に感じていることは達成できていると考えられる。

意見2: デュアルシステムを昨年度経験した生徒の説明で、その生徒の姿と語りから、成長している姿、自信をもって3年生になっていることがうかがえる。中学校では教員と生徒との距離が近く、一人一人の生徒に対して親身になって指導しているが、八百津高校においても、同じように教員との距離が近いことを感じる事ができた。今後とも親身で手厚い指導をするとよい。

(2) 令和5年度の教育課程について

意見1: 八百津高校には魅力がたくさんある。社会に出れば、勉強ができる・できないは関係がない。コミュニケーション能力をつける学校として、八百津高校には魅力が十

分にある。子どもの数をみるだけでも人口は減っている。予想はできているので、その中で八百津高校が存続していく方法を考えなければならない。

(3) その他

意見1：少人数クラスの指導や家庭でのノート学習など、子どもたちに寄り添った指導を継続しており、その努力が続いていてよい。

意見2：1年生の入学生徒数が51名ということで学校に活気がなくなるのではと心配していたが、杞憂であった。魅力ある学校になるために、生徒自らがルールなどを決めるなど自分たちの学校生活を主体的に考える場を提供するとよい。

意見3：生徒が近年の卒業生の現況を聞く会など卒業生の人的資源の有効活用を考えるとよい。

6 会議のまとめ

- ・今年度の学校経営計画等について全委員から承認が得られた。